

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和2年度～令和4年度）
研究開発課題名	ペプチド型中分子および核酸型中分子を病変細胞内に送達し、活性化する方法
代表機関名	公立大学法人名古屋市立大学
研究開発代表者名	梅澤 直樹

総合評価：やや良い

【評価コメント】

中分子の新規 DDS 技術として、コンセプト検証が求められる先進的な課題目標に向けて、計画に沿って p53/MDM2 タンパク質間相互作用阻害ペプチドを中心に合成展開の努力を重ね、粘り強く検討を行い、種々の基礎データを蓄積されたことが評価できる。しかし、想定外の細胞毒性の発現等があったとはいえ、技術開発の目標水準に達しておらず、創薬研究への応用性・発展性に係る期待された成果が十分に得られていない。

本課題での知見や経験を生かし、より適切な標的を選んで、DDS 技術としての有用性を示すことを期待する。研究を継続・進展させて、医療分野の進展に資する基盤技術として完成に導いていただきたい。

以上